

竹とんぼ作り

1 所要時間 2～2.5時間

2 服装 活動しやすい服装

3 準備物

- ・ 利用者 軍手、新聞紙、上ぐつ、竹串15cm（太口）
- ・ 施設側 (1) ・切り出しナイフ 150 ※左利き用切り出しナイフも貸出可能。
・用具（35セット）

品名	数量	品名	数量
工作台	6	木づち	6
なた	6	四つ目ぎり	6

- (2) 材料 ・ 施設側で準備する場合

竹	羽根：長さ 約10cm
---	-------------

※ 利用者側で竹材を準備する場合は、所定の長さに切っておく。

4 活動の流れ

分	活動内容
0	センター職員による全体説明
20	●必要な材料・用具の受け取り、数量の確認
30	① なたと作業台、木づちを使って竹を割る。
90	② 切り出しナイフで羽を作る。
120	③ 羽根の調整、仕上げ
150	●用具の数を確認し返却、片付け、そうじ 職員の点検

5 活動場所 野外活動棟ホール（A、B）

6 活動指導資料

分	係	内容	活動	引率・指導者	施設職員	その他
				参加者の誘導 事前説明		
0		集合・説明	集合・説明	活動の運営 補足説明	諸注意 ※活動の説明	
20～		◎用具貸し出し	必要な材料 用具の受け取り 数量の確認	用具係の選出 材料・用具の確認 制作場所の指示	材料・用具の受け渡し	制作場所に新聞紙を敷く
30～ 90～ 120～		制作	① 竹を割る ② 羽根作り ③ 調整・仕上げ	制作運営 活動終了時間の設定	制作補助 バランス調整 片付けの説明	
		◎片付け・そうじ	用具返却、片付け そうじ 職員の点検	返却用具の第1次点検 清掃指導 保管方法の指示	返却用具の第2次点検・受け取り	モップやほうきで清掃

◎ センター職員は利用団体への用具の貸し出し、返却時の第2次点検を主として行う。(第1次点検は利用団体で行う。)

※ 利用団体の要望に応じて、施設職員から大まかな作業工程について説明をすることができる。

7 作り方

羽根づくり

(1) 新聞紙の上に布を敷き、その上に工作台を置く。工作台の上に竹筒をのせ、その上になたを置き、木づちでたたいて半分に割る。

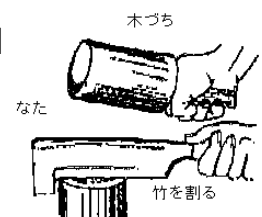
羽根用の竹筒(長さ約10cm)を約2cmずつ割っていく。

※ 竹筒1本で8～12枚とれる【図1、2】

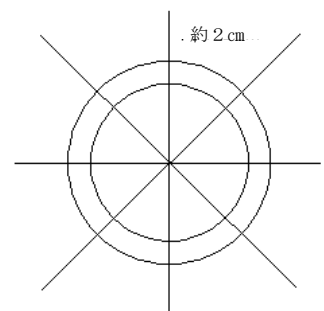
(2) ものさしを使って中心をとり、きりで穴をあける。

※ きりで穴をあける場合は、垂直になるように注意する。

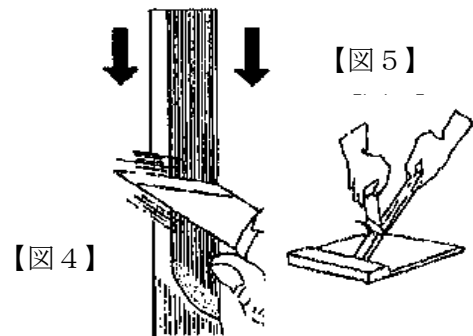
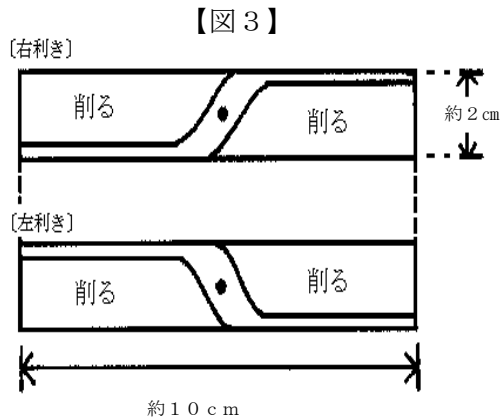
【図1】



【図2】



- (3) 右利きの方は羽根が右下がりになるように、左利きの方は羽根が左下がりになるように、斜めに薄く削る。【図3、4】
- (4) ナイフを固定し、竹材を手前に引いて削る。
※ 工作台を使う場合は【図5】参照。
- (5) 裏返して、同じように薄く削る。 ※ 厚さは2mm以下



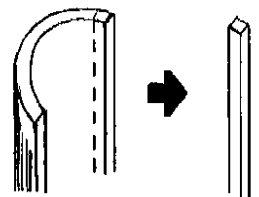
【竹を削るときの注意】

- (1) ももの上にナイフを固定し、竹を引いて削るのが基本である。
※ ナイフを動かすと、けがをしやすいので注意すること。
- (2) ナイフは素手で持ち、竹を持つ方の手は必ず軍手を着用する。

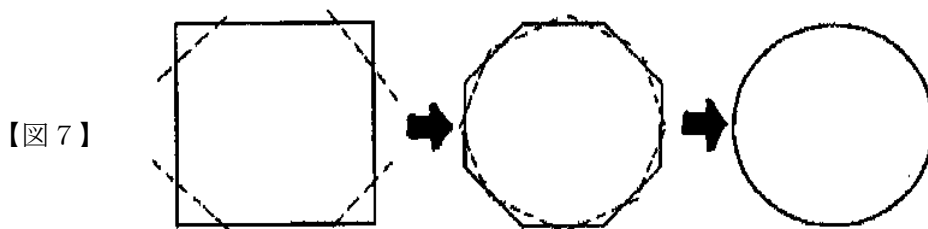
軸づくり

- (1) 羽根づくりと同様に、なたと木づちを使って、竹筒を竹の肉厚と同じになるように割る。【図6】

【図6】



- (2) 【図7】のように角を繰り返して削りながら円柱にする。



- (3) 全体のバランスを考えながら、自分の使いやすい太さにする。

仕上げ

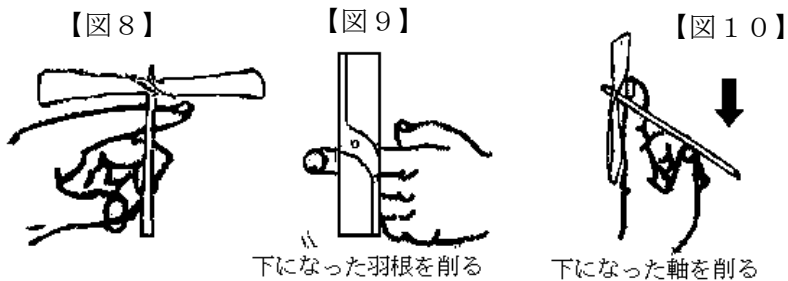
削った羽根に軸を付けた後、軸の部分に指に乗せて、バランスがとれているかどうか確認し、調整する。【図8】

(1) 羽根の左右のバランス

左右のバランスがとれていないと、重い方の羽根が下になる。重い方の羽根を削って、水平になるようにする。【図9】

(2) 羽根と軸のバランス

羽根と軸のバランスがとれていないと、羽根か軸の重い方が下になる。下になった方を削って、水平になるようにする。【図10】



(3) 飛ばし方

【うまく飛ばない原因として】	【対策】
・竹とんぼが全体的に重い。	→ 全体的に削る。
・左右の羽根のバランスが悪い。（長さ、厚さ）	→ 左右の羽をそろえる。
・羽根と軸のバランスが悪い。	→ 重い方を削る。
・飛ばし方が悪い。	→ 上手な人のまねをする。

※ 飛ばす時は、周囲の安全を確認してから行う。